

7. 中宗岡地区

(1) 中宗岡地区の概況

荒川と新河岸川に挟まれた荒川低地の中部に位置する人口密度の低いエリアで、地区の西端には市役所が立地しています。市役所周辺は自然と歴史を楽しむ空間となっており、新河岸川にはいろは親水公園が整備されています。

全長 1.8km におよぶせせらぎの小径が地区の南北方向に整備されており、将来的には東西方向に一般国道 254 号バイパスの整備が予定されています。また、隣接する荒川河川敷（荒川堤外）には、広々とした農地とスポーツ施設の集約がみられます。



(2) 中宗岡地区の人口動向

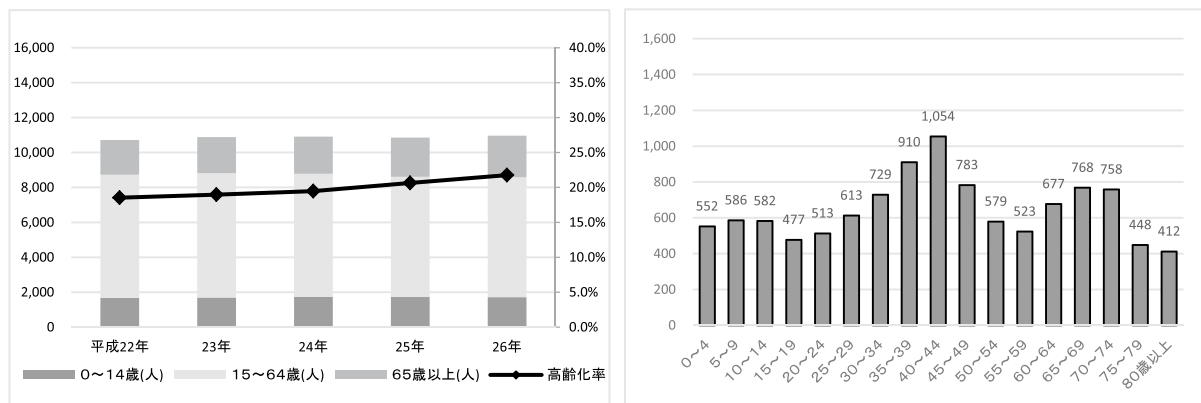
近年の人口は、平成 22 年の 10,717 人から平成 26 年の 10,964 人と増加傾向となっています。年少人口が平成 24 年以降減少に転じており、高齢化も進行しています。

年齢別の人口構成では、30 歳代～40 歳代が特に多く、次いで 60 歳代～70 歳代前半が多くなっています。

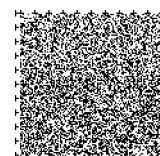
■年齢 3 区分別人口及び高齢化の推移

	平成22年	23年	24年	25年	26年
総数(人)	10,717	10,883	10,911	10,854	10,964
0～14歳(人)	1,681	1,700	1,744	1,725	1,720
15～64歳(人)	7,051	7,118	7,042	6,889	6,858
65歳以上(人)	1,985	2,065	2,125	2,240	2,386
高齢化率	18.5%	19.0%	19.5%	20.6%	21.8%

■年齢 3 区分別人口及び高齢化の推移（グラフ） ■平成 26 年の 5 歳階級別人口（グラフ）



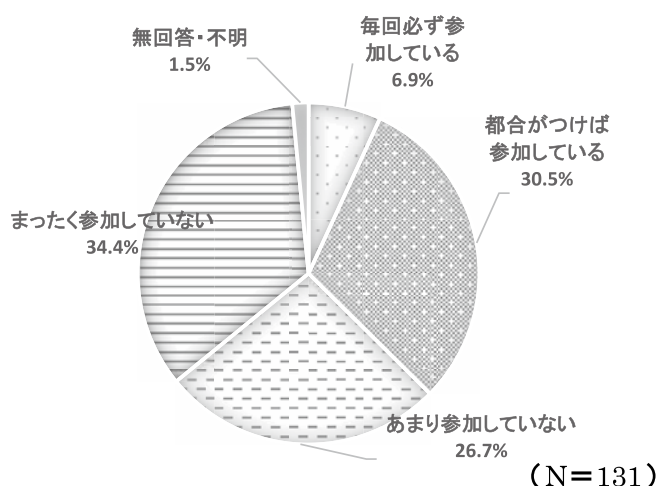
出典：埼玉県町（丁）字別人口調査各年 1 月 1 日現在



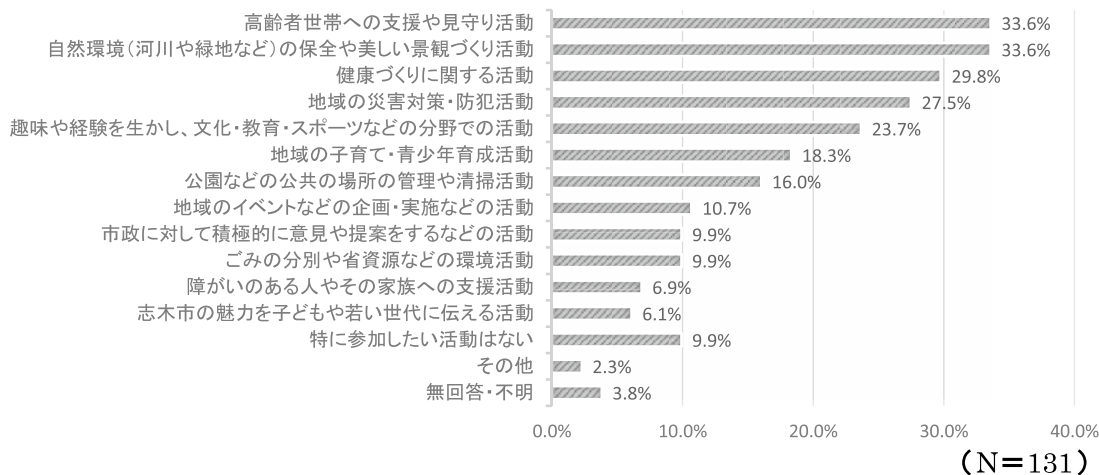
（３）中宗岡地区の市民意識

- 地域活動へは「都合がつけば参加している」が30.5%と最も高く、館地区に次いで、地域活動への参加意識は高いことが分かります。
- 市民力を生かしたい活動の内容は、「高齢者世帯への支援や見守り活動」が最も多くなっていますが、「健康づくりに関する活動」も上位となっていることが特徴的です。

■地域活動への参加



■市民力を生かしたい活動



※市民意識調査（調査項目の中から、「市民力」に関連する項目）を抜粋

（４）地区まちづくり会議からの主な意見

① 問題点・課題

- ・「交通」においては、道路整備や一般国道 254 号バイパスなどについて課題となっています。
- ・「公共空間」については、公園等の子どもの遊び場や公共施設の少なさ、いろは親水公園の管理や公共施設の活用についてあがっています。
- ・商店が少ない等の「利便性」に関する意見や、地域のつながりの希薄化等の「コミュニティ」に関する意見があがっています。

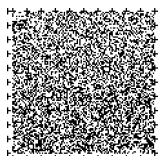
② 優れている点・強み

- ・「住環境」について、せせらぎの小径やいろは親水公園等の憩える空間の立地、自然が豊かな点があがっています。
- ・「コミュニティ」では、祭りの活気や住民のつながりの強さ等があがっています。

③ 地区で主体的に取り組んでいるまちづくり活動

- ・下校時のパトロールなどの「防犯・防災」に関する活動、祭りや町内会活動の開催の「イベント」、子育て支援や芸術に触れる機会の提供等の「教育・福祉」活動に取り組まれています。

※地区まちづくり会議の意見から、多かった意見や地区を特徴づける意見を抽出



（５）中宗岡地区の課題

地区の現状を踏まえ、特に地区で解決すべき重点的な課題として、「地区の活性化」「コミュニティ」「住環境」の３つの視点で課題を整理します。

【地区の活性化に関する課題】

- ・ 一般国道 254 号バイパス整備に際しては、広域道路網の充実だけでなく、沿道土地利用の誘導などにより地区の発展にも寄与するような取組が求められています。

【コミュニティに関する課題】

- ・ 荒川堤防沿いなどにおいて新たな住宅地も形成されているため、住民相互の交流や団地やマンション単位での新規居住者による新たなコミュニティの形成が必要となっています。
- ・ 増加している高齢者も住み続けられるように、生活サポートの充実や住宅の改善支援などが求められています。

【住環境に関する課題】

- ・ 志木駅方面に向かう道路が限られていることから慢性的な交通渋滞が発生しており、精神的な距離感の拡大を与えています。
- ・ バス路線以外は狭隘な道路も多い中で運輸関係の施設も多数立地しており、トラックの通過などによって歩行者が危険を感じる場合が多々みられます。
- ・ 近年大きな災害には見舞われていませんが、荒川低地に広がる低層市街地であるため河川氾濫の危険性が指摘されています。

（６）中宗岡地区のまちづくり方針

以下の方針に基づき、具体的施策に取り組みます。各地区のまちづくりの方針、具体的施策を推進することで、将来構想に掲げる市の将来像の実現を目指します。

方針 1

市役所及び本町通りに通じるいろは通り（さいたま東村山線）沿道において、商業施設の集積や魅力的な沿道景観の形成を図ります。

【具体的施策】

持続可能なまちづくりの推進

【取組内容】

人口減少や超高齢社会に対応するため、将来にわたって都市機能を適正に維持管理し、各地域が持つ特性を生かした持続可能なまちづくりを推進します。
また、都市の景観を守るため、景観形成の推進を図ります。

方針 2

河川、農地、屋敷林などの一体的な保全や、歩行者・自転車空間の充実などにより、自然豊かな人や地球環境にやさしい地区イメージの形成を図ります。

【具体的施策】

みどり豊かな暮らし

【取組内容】

季節を感じ、自然にふれあえる憩いの場を確保するため、志木市緑の基本計画に基づき、将来にわたり市内に残された数少ない緑地の保全に努めます。また、保存樹木の指定による管理費の一部補助や生け垣の設置に対する補助を行い、都市緑化を促進するとともに、市民、市民団体、事業者及び行政による緑化活動を推進します。

環境に優しい交通手段

都市の低炭素化に向けた取組として、環境にやさしく、交通の利便性の高いまちを目指します。

方針3

荒川河川敷（荒川堤外）のスポーツ施設と連携し、日常の健康づくりやスポーツ・イベントの拡充などによりにぎわいの創出を図ります。

【具体的施策】

【取組内容】

健康ライフスタイルの支援

成人の健康や体力づくり、子どもの体力向上、高齢者の健康寿命の延伸、障がい者のスポーツ参加の支援等を健康・福祉部門と連携して実施していきます。

スポーツ・レクリエーション活動の支援

各スポーツ団体が自立した運営を行いながら、スポーツ・レクリエーション事業を拡大する支援を行います。

スポーツ施設の整備・活用

市民のニーズにあわせて、安全・安心で快適なスポーツ施設の活用を促進します。

方針4

いろは親水公園の活用などにより、さくらまつりだけでなく一年を通して新河岸川に市民が集うような仕掛けづくりを促進します。

【具体的施策】

【取組内容】

観光資源の発掘と活用

観光協会をはじめとする関連団体等と連携して、地域特性を生かした観光資源の発掘と活用を図るとともに、にぎわいを創出するため、まちの担い手育成塾などの人材育成に取り組み、積極的な観光事業を展開していきます。

方針5

増加している高齢者も住み続けられるように、生活サポートの充実や住宅の改善支援などを促進します。

【具体的施策】

【取組内容】

高齢者福祉の充実

高齢者及び要介護者等が自立した生活を継続できるよう、本人や家族を支援するため、市独自の事業を実施し、利用の周知とともに、支援情報、保健・福祉及び関係機関の連絡体制を強化します。

住宅施策の推進

子どもから高齢者、あらゆる世帯の誰もが安全・安心で快適に暮らすことができるよう住環境を取り巻くさまざまな課題を整理し、良好な住まい・住環境の形成を目指します。

方針6

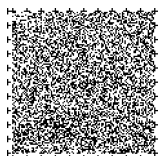
新旧住民や多様な世代の交流促進により市民が一体となった地域活動の活性化を図り、住み心地の良いコミュニティの形成を促進します。

【具体的施策】

【取組内容】

地域コミュニティの活性化

町内会をはじめとする地域のコミュニティ団体の育成や活動の支援を通じて、市民のコミュニティ意識の高揚と地域コミュニティの活性化を促進し、豊かな地域社会づくりを推進します。



方針 7

河川氾濫の可能性を踏まえて、安心して住み続けられるように、安全な避難路の確保と避難所の充実を図ります。

【具体的施策】	【取組内容】
水害対策	都市型災害を防止するため、市民・民間事業者の開発などにあわせて雨水流出抑制施設の設置を指導・啓発するとともに、雨水貯留施設や未整備水路の整備と維持管理を進めます。また、排水機場等の維持管理や施設の長寿命化を図ります。 大雨や台風、局地的集中豪雨における浸水対策として、設備の効率的な配置や更新、維持管理を行います。
防災体制の充実	日頃から市民の生命・身体・財産を保護するため、災害被害が最小限となるよう防災体制の強化を図るとともに、地域の防災力を高めます。

